

ちあばい♪ 布キット



必要な物(ご準備ください)

- ・中綿(化繊・ポリエステル)
- ・縫い針(またはミシン)
- ・縫い糸 ・まち針
- ・チャコや鉛筆
- 色落ちするサインペンはNG
- ・ハサミ ・定規かメジャー

入っているもの

表用の布 1枚(右表の直径+縫い代1cm)
 裏用の布 1枚(")
 ふた(表布と同じ模様の布)
 作り方(この紙です。)
 布は綿100%です。(ラメ部分は除く)

2018.8.18

出来上がりサイズ	表布の直径/縫い幅	カップキャミ	前開きブラ
9cm	11cm/1cm	S	S
10cm	12cm/1cm	S	S
AA(11cm)	14cm/1cm	M	S
A(12.5cm)	16cm/1cm	L	M

こちらは全摘バージョンの基本形です。

表布に印をつける。

裏布は何もしません。

①表布の上下を決めます。特に上下のある動物系イラストはご注意ください。

②表を内側にして、上下に半分に折ります。

③さらに半分に折り、上側になる布の上の折り目に点を書きます。下側の布に書かないよう注意しましょう。

④中心点に、点を書きます。

⑤1回分の折りを戻します。

⑥端から中心点に向かって折り、下になる布に点を書きます。この時、上になる布に点は書きません。反対側も同様に点を書きます。

⑦全て開きます。そうすると、上に1つ、下に2つ、点が書かれています。

この後の説明は全摘バージョンです。温存バージョンとは作り方が違うので、ご注意ください。

⑧まち針から、中心点に向かって線を書きます。※大事な模様が線にかかる場合は、線を書かずに次に進みましょう。

表布の準備

裏布は何もしません。

①表布を中表になるようにして線に合わせて折ります。

②線から1cm離れたところに点を書きます。

③点から中心まで縫います。自信がない方は、線を引いて縫いましょう。

3か所とも縫っておきます。

模様が線にかかる方の場合

①線に合わせて折ります。

②線から1cm離れたところに点を書きます。

③中心点の3/1~半分のあたりに②の点から線を引き、縫います。中心まで縫わないことで、模様を残します。

全体を縫う

①表布の表側にふたを乗せます。ふたの両端に点を書きます。

⑤動かないように裏布と表布とふたをまち針で固定して、表布のふちから1cm中側を縫います。

表布のふたの部分はもう縫ってあるので、ふたのある位置の表布は縫いません。代わりにふたと裏布だけを縫います。

⑥裏布のはみ出しが多いところを、表布に合わせて切りそろえます。※表布を切る時は、準備の縫い線と、ふたの縫い留めを切らないでください。

⑦ふたからひっくり返し、綿を詰めれば出来上がり。

手編みバージョンよりも丸い三角形になりますが、裏布の伸ばし具合等で、四角くなる場合もあります。

ちあばい♪ 布キット



必要な物(ご準備ください)

- ・中綿(化繊・ポリエステル)
- ・縫い針(またはミシン)
- ・縫い糸 ・まち針
- ・チャコや鉛筆
- 色落ちするサインペンはNG
- ・ハサミ ・定規かメジャー

入っているもの

表用の布 1枚(右表の直径+縫い代1cm)
 裏用の布 1枚(")
 ふた(使いません。表布と同じ模様の布)
 作り方(この紙です。)
 布は綿100%です。(ラメ部分は除く)

2018.8.18

出来上がりサイズ	表布の直径/縫い幅	カップキャミ	前開きブラ
9cm	11cm/1cm	S	S
10cm	12cm/1cm	S	S
AA(11cm)	14cm/1cm	M	S
A(12.5cm)	16cm/1cm	L	M

こちらは温存バージョンの基本形です。

表布に印をつける。

①表布の上下を決めます。特に上下のある動物系イラストはご注意ください。

②表を内側にして、上下に半分に折ります。

③さらに半分に折り、上側になる布の上の折り目に点を書きます。下側の布に書かないよう注意しましょう。

④中心点に、点を書きます。

⑤1回分の折りを戻します。

⑥端から中心点に向かって折り、下になる布に点を書きます。この時、上になる布に点は書きません。反対側も同様に点を書きます。

⑦全て開きます。そうすると、上に1つ、下に2つ、点が書かれています。

この後の説明は、温存バージョンです。全摘バージョンとは作り方が違うので、ご注意ください。

⑧裏布も同様に点を書いておきます。

全体を縫う

①綿入れ口を作ります。口の位置は手術跡に近い位置で、2点の間がベストです。

②口にしたい場所を、内側1cmの場所で、裏に向けて折り、縫い留めます。表布、裏布ともに縫っておきますが、点や口がそろうようご注意ください。

③表側が中になるように、布を半分に点の位置で折ります。

④点の位置から1cm離れたところに点を書き、書き込んだ点から中心点までの間がずれないようにまち針を打ちます。

⑤④の点から中心点に向けて折り、折れ目をつけます。※この後の作業がうまくいかない時は、この折れ目にアイロンをかけましょう。2枚とも同じように折れ目をつけましょう。

⑥布を中表にして、折れ目の位置を合わせます。折れ目を逆向きにして、まち針を打ちます。

※逆向きだと布は4枚
 ※同じ向きだと布は6枚で分厚い

⑦布の端から内側1cmを口の端から縫い始め、反対側の端で縫い終わります。

※全体的に綿を詰めたい場合は、2点から中心点までの形に合わせてキルト芯を扇形に切って、付けます。

⑧口の部分から、ひっくり返します。

補正する

①ひっくり返したら、胸に当ててみます。③綿の少し外側を並み縫いで縫って出来上がり。

②補正したい場所に綿を少しずつ入れてみて、補正したい範囲と綿の量を決めていきます。※綿の位置が決まったら、綿が動かないように綿の端にまち針を打ちます。

④余力のある方は、表布と裏布がずれないように、綿を入れていない場所を縫っておきます。

例えば野球のボール風や、糸でハートやリボンを入れてもかわいいです。